

## 「第3回日本伐木チャンピオンシップ in 鳥取」の開催結果について

令和5年12月11日  
林政企画課

チェーンソー操作技術の「安全性、正確さ、スピード」を競い合い、林業の魅力を新たに発信する、全国大会の第3回日本伐木チャンピオンシップ in 鳥取を開催しました。

新設した「アカデミー・ジュニアクラス」で智頭農林高等学校のチームが、総合優勝と3位入賞を果たす等、高校生も健闘しました。

- 1 開催日 10月28日(土)、29日(日)
- 2 会場 大山楨原駐車場 (西伯郡大山町赤松上楨原)
- 3 主催 第3回日本伐木チャンピオンシップ in 鳥取実行委員会  
(会長) 嶋沢和幸、(副会長) 鹿島 功
- 4 来場者 約1,800人 (目標1,000人)
- 5 概要



### (1) 競技参加状況

・出場選手数 **全国から91名** (うち県内26名)

①プロフェッショナルクラス (5種目: 伐倒・丸太合わせ輪切り・接地丸太輪切り・枝払い・ソーチェン着脱、39名)  
【県内: 6名 (鳥取県東部森林組合、赤堀農林)】

②ビギナークラス (2種目: 伐倒・丸太合せ輪切り、22名)

【県内: 12名 (鳥取県東部森林組合、吾妻商事(有)、鳥取県中部森林組合、日南町森林組合、(株)神戸上農林)】

**新設**③アカデミー・ジュニアクラス (2種目: 簡易伐倒・丸太合せ輪切り、**全国から10校15チーム30名が参加**、1チーム2名でのチーム戦) 【県内: 8名 (にちなん中国山地林業アカデミー、智頭農林高等学校、倉吉農業高等学校)】  
→今大会から若い林業従事者の確保を目的として全国初の設置。全国の林業大学校、農林業高校等が参集。

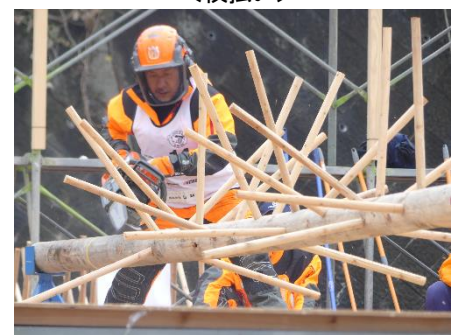
#### <伐倒: マストツリー方式>



#### <丸太合わせ輪切り>



#### <枝払い>



### (2) 競技結果

・鳥取県選手は、プロフェッショナルクラスで総合2位、ビギナークラスで総合3位に入賞し、種目別の接地丸太輪切り競技において優勝した。

○プロフェッショナルクラス (総合)

優勝	杉本 和也 (岐阜県)
2位	栗田 亮 (鳥取県)
3位	松村 祐 (長野県)

○ビギナークラス (総合)

優勝	山根 孝司 (兵庫県)
2位	駒田 賢 (北海道)
3位	田邊 邦治 (鳥取県)

○プロフェッショナルクラス (種目別)

接地丸太輪切り競技	栗田 亮 (鳥取県)
: 優勝	

・アカデミー・ジュニアクラスでは、智頭農林高等学校が総合優勝と3位入賞を果たし、種目別でも伐倒競技において優勝した。

○アカデミー・ジュニアクラス (総合)

優勝	鳥取県立智頭農林高等学校	古谷 龍彦・向井 鉄太	チーム
2位	奈良県フォレストアカデミー	松林 悠汰・大栗 匠瑛	チーム
3位	鳥取県立智頭農林高等学校	木村 悠人・小林 大倭	チーム

○アカデミー・ジュニアクラス (種目別)

伐倒競技 (簡易方式)	智頭農林高校
: 優勝	古谷 龍彦・向井 鉄太 チーム